

駒工「助っ人同好会」 飯田女子短大「かみかみサークル」 ストラップ作り縁で交流会



そしゃく啓発キャラクターのストラップを製作した縁で交流した駒ヶ根工業高校「助っ人同好会」の生徒と飯田女子短期大学「かみかみサークル」の学生



短大生が見守る中、専用の機械を使って布にイラストを転写する助っ人同好会の横井哉太会長

駒工で原画の転写過程など見学

駒ヶ根市にある駒ヶ根工業高校「助っ人同好会」の生徒と飯田市の飯田女子短期大学「かみかみサークル」の学生が16日、駒ヶ根工業高校で交流会を開いた。同サークルが健康を高めるそしゃく啓発活動に用いるキャラクター「かみかみ大使カミン」の亚克力製ストラップを助っ人同好会が製作した縁。短大生はストラップの製作過程を見学し、次のグッズ開発の参考にした。

交流会は高校生6人と短大生3人、各顧問の教授、教諭が出席。最初に助っ人同好会が行う台風19号災害の被災者へ贈る義援金集めに協力した短大生が現金3万3000円

を駒工生に託した。続いて、ストラップの製作現場を見学。駒工生が実際にデータ入力した原画を機械で亚克力板へ転写すると、短大生は「たくさんの工程がありませぬ」「めっちゃ、きれいな」と驚いたり感心したりした。

サークルの古田彩葉代表(20)は「すごい技術でびっくりしました。お弁当の袋や箸にそしゃくや歯磨きを呼び掛ける標語を転写できたらすてきですね」と望んだ。助っ人同好会の横井哉太会長(17)は「相手が喜んでくれると、こちらもうれしい。今後もニーズに応じたグッズ作りを手伝いたい」と話した。